

活 動 報 告 書 (政務活動費活用分)

叶内 恵子

参加したセミナー：NPO 法人多摩住民自治研究所「よくわかる市町村財政分析基礎講座」

講師：大和田 一紘：多摩住民自治研究所理事

：石山 雄貴：多摩住民自治研究所研究員

4月13日(水)

- ①13:00～14:00 第1講 自治体情報の電子化と公開性
- ②14:15～15:45 第2講 市町村のふところは一歳入の仕組みを考える
- ③16:00～18:00 第3講 議会・市民から見た税金の使われ方一歳出の仕組みを考える
- ④18:15～19:30 第4講 様々な「財政指標」の見方・読み方・使い方

4月14日(木)

- ⑤9:15～12:00 第5講 地方交付税分析ツールとしての地方交付税算定台帳
 - ⑥13:00～15:00 第6講 わかりやすくわがまちの財政を伝える意味とその手法
- 受講費用：27,000円(別紙領収証添付の通り)

[調査研究の活動報告]

市町村統計上の代表的な財政指標として、経常収支比率があり、決算特別委員会においても財政構造の弾力性を測定する比率として説明を受けるが、本セミナーに参加して、比率を算定するための分母の項目、分子の項目がどのようなものであるのか、何パーセントが弾力性があるということになるのか、硬直化しているとみるのかということを理解することができた。様々な「財政健全化」指標への理解は、複雑であり、更なる研鑽を積みたい。